

令和4年 丹波市10大ニュース 一覧

【ふるさと創造部総合政策課】

	タイトル及び説明
●	<p>「住みたくなる」、「帰りたくなる」支援パッケージ始動</p> <p>若い世代に向けて「帰ってこいよ」と声かけられるまちづくりを進めるため、4月1日から「住みたくなる、帰りたくなるパッケージ」として、「ふるさと就職奨励金」「福祉人材就職奨励金」「若者定住奨励金」「ハッピーバース手当」の4つの奨励策を創設し、若者・子育て世代のライフステージに合わせた支援を開始した。「就職するなら丹波市で」「子育てするなら丹波市で」「移住・定住するなら丹波市へ」を合言葉に、就職奨励、移住・定住促進、出産の応援等の取組を連動させ、若い世代の誘引を図った。</p>
●	<p>国保青垣診療所で4月から医師2名体制がスタート</p> <p>国保青垣診療所では、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを支える地域の包括的な一次医療施設として、安定的な医療提供を持続するため、常勤医師2名体制とすることを目指し、医師招聘活動を行ってきた。</p> <p>その念願が叶い、4月1日から内科医1名が着任し、2010年以来となる常勤医師2名体制がスタートした。</p> <p>着任した中西潤医師（33）は長野県や岡山県の病院等で総合診療や家庭医療を専門に地域医療に従事してきた。医療の充実を通して「丹波市に住みたい」と思っていただけけるよう、まちづくりにも貢献したいと意気込んでいる。</p>
●	<p>重点「道の駅」丹波おばあちゃんの里がリニューアルオープン</p> <p>令和元年度に国土交通省から重点「道の駅」に選定された道の駅丹波おばあちゃんの里は、地域活性化・地方創生の拠点形成を目指した再整備工事（1期）が完成し、3月26日にリニューアルオープンした。</p> <p>市内の特産品をPR・販売するために物産館を増築し、売場面積を2倍に拡張したほか、観光情報センターの新設、駐車場の増設や公園遊具を2基増設したことにより、令和3年よりも入込客数が約1.5倍になった。</p> <p>また、2期工事として令和4年度に親子が一緒に利用できるトイレの新設と既存トイレのリニューアルを実施し、さらに魅力を向上させていく。</p>
●	<p>「女子野球タウン」認定で“女子高校野球の聖地”の知名度アップ</p> <p>平成12年から女子高校野球の全国大会を開催し、女子高校野球の裾野の拡大や女子野球選手の活躍の場となっていることが認められ、一般社団法人全日本女子野球連盟が公募する「女子野球タウン」に本市が認定された。</p> <p>また、女子高校野球の主会場となる「つかさグループいちじま球場 [スポーツピアいちじま野球場]」が、日本野球機構などが行う野球伝来150周年記念事業の『日本野球聖地・名所「150選」』に選ばれた。女子野球を通じて、シティプロモーションとして活用するほか、ジェンダー平等、女性の活躍促進など、女子野球による地域活性化を目指す。</p>
●	<p>大名草～佐治間のバス路線が11年ぶりに復活</p> <p>令和4年10月に柏原駅～佐治間のバス路線が、佐治バス停から神楽地区の大名草上バス停まで計9箇所新設され、平日朝夕の2便が延伸された。</p> <p>同地区を路線バスが走るのは、平成23年以来11年ぶりとなる。</p> <p>現在、高校生の通学利用で路線バス利用者が回復傾向にあり、今回延伸した路線も主に高校生の通学手段としての活用が期待される。</p>

	タイトル及び説明
●	<p>ごみ減量化の推進</p> <p>現在、丹波篠山市清掃センターで処理している山南地域のごみを令和9年度から丹波市クリーンセンターで受け入れる必要があり、燃やすごみの減量が喫緊の課題となっているなかで、剪定枝・刈草の資源化、紙製容器包装の分別収集、生ごみ処理容器の購入補助、機密文書の収集など新たな燃やすごみの減量施策に着手した。さらに、昨年度から安価になったプラスチック系ごみ袋の使用により、これまで燃やすごみとして排出されていた容器包装プラスチックを適正に分別する市民の意識を高めることで、燃やすごみの減量を進めた。</p>
●	<p>ふるさと移住の取組が好調！移住相談窓口での移住実績が6年連続で増加</p> <p>令和4年2月に「丹波市ふるさと移住促進方針」を策定し、住みたくなる、帰りたくなる丹波市の実現に向けて、分野横断の取組を一体的に促進した。とりわけ、市の移住相談窓口であるたんば“移充”テラスでは、住まいるバンクやたんばの仕事など個別の取組を丁寧に充実させてきたことで、6年連続で移住実績が増加し、移住者をはじめ市民にも移住・定住の取組の良さや必要性が定着してきている。</p>
●	<p>たんばし電子図書館サービスを開始</p> <p>令和4年10月20日からスマートフォンやパソコンなどで電子図書の貸出・返却などができる「たんばし電子図書館サービス」を開始した。</p> <p>市内に在住・在勤・在学の方で図書館利用者カードがあれば来館不要で、24時間インターネット上で利用できる。</p> <p>仕事や子育てなどで開館時間に足を運べない人や読書習慣のない人に向け、様々な状況を踏まえ読書の機会を提供できればと期待を寄せている。</p>
●	<p>丹波市立氷上回廊水分れフィールドミュージアム来場者数3万人達成</p> <p>丹波市立氷上回廊水分れフィールドミュージアムは、令和3年3月のリニューアルオープン以降の累計入館者数が令和4年1月30日に3万人に達した。</p> <p>これからも「水分れ」の地形の秘密、丹波地域の生物多様性や歴史等、氷上回廊を中心とした地域資源を次世代に受け継ぎ、学びの機会や体験する場を提供する施設として運営していく。</p>
●	<p>コロナ禍におけるエネルギー価格・物価高騰から市民・事業者を守る取組</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、エネルギー価格や物価の高騰が市民生活や事業者活動を直撃した。市民・事業者を守り、地域社会の回復を下支えするため、国の交付金を活用し、2回にわたり物価高騰対策の取組を迅速かつ、きめ細やかに進めた。</p> <p>【第1弾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道料金基本料金の4ヶ月間免除 ・フードドライブを通じた食料品の支援などの生活困窮世帯への支援 ・学校・認定こども園の給食食材費等の負担軽減 ・中小企業者、地域公共交通事業者、福祉事業所、認定こども園等への燃料費等相当分の一部補助 <p>【第2弾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非課税世帯への支援（国事業） ・学校給食費の4ヶ月間免除 ・農業者への支援 ・中小企業者、地域公共交通事業者、福祉事業所、認定こども園等への燃料費等相当分の一部補助（継続）